年間授業計画　様式例

高等学校 令和7年度（２学年用） 教科　　国語　　科目 言語文化

教　科：　国語　　科　目：　言語文化　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組～　　6 組

使用教科書：（ 新編　言語文化　第一学習社　　）

教科　国語　　の目標：

【知識及び技能】　国語の知識及び機能を習得するための言語活動の充実。

【思考力、判断力、表現力等】　「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したり　する力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】　言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもつ。

科目　言語文化　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・表現技法や語句の使い方を理解している。 ・文章の内容を構造的に理解している。 ・基本的な文語のきまり、訓読のきまりを理解している。	・文章や話題の内容を整理したうえで自分の考えや意見を持ち、客観的な根拠に基づいて他者に話すことができる。	・文章に表れた書き手の多様な思いや考えに気づくことができる。 ・相手の立場を尊重しながら話し合うことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
一学期	○小説「羅生門」 ○古文を読むために①③ 【知】我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思】作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【学】登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き内容や展開を捉えようとしている。	・指導事項 語句知識、読解、発表など ・教材 教科書、便覧、プリントなど ・一人１台端末の活用 情報検索、資料収集、発表準備など			○	（知）語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 （思）小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉えている。 （態）作品の成立した背景を踏まえて、内容の解釈を深めようとしている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1
	○古文を読むために②③ ○古文「児のそら寝」 【知】古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。 【思】文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【学】積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合おうとしている。	・指導事項 語句知識、読解、発表など ・教材 教科書、便覧、プリントなど ・一人１台端末の活用 情報検索、資料収集、発表準備など		○		（知）語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 （思）説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉えている。 （態）現代に通じる人間のありようを味わいながら、古文の世界への親しみを深めようとしている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1
2学期	○短歌「大切の言葉」 ○小説「よろこびの歌」 【知】我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 【思】作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【学】作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方、感じ方を豊かにしようとしている。	・指導事項 語句知識、読解、発表など ・教材 教科書、便覧、プリントなど ・一人１台端末の活用 情報検索、資料収集、発表準備など	○			（知）我が国の伝統文化の一つである短歌の鑑賞のしかたを理解している。 （思）作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 （態）我が国の伝統文化の一つである短歌の鑑賞のしかたを理解し、近代を代表する歌人の作品を味わおうとしている。	○	○	○	7
	定期考査						○	○		1
	○古文を読むために③ ○古文「筒井筒」 【知】古典の世界に親しむために作品の歴史的・文化的背景に理解を深めている。 【思】作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 【学】歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとしている。	・指導事項 語句知識、読解、発表など ・教材 教科書、便覧、プリントなど ・一人１台端末の活用 情報検索、資料収集、発表準備など			○	（知）和歌を含む物語の読み取りを通して、古文への興味・関心を広げている。 （思）歌物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉えている。 （態）作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1
3学期	○訓読に親しむ㈠～㈢ ○故事成語 ○漢詩「静夜思」 【知】訓読のきまりを理解する。 【思】文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【態】日常的に使う故事成語や格言の量を増やし、漢文が我が国の言語文化と不可分の関係にあることを理解しようとしている。	・指導事項 語句知識、読解、発表など ・教材 教科書、便覧、プリントなど ・一人１台端末の活用 情報検索、資料収集、発表準備など		○		（知）漢文を訓読するための基礎知識として、再読文字の種類と読み方を理解している。 （思）故事成語や格言に多く触れることにより、語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 （態）我が国の文化と外国の文化との関係について理解し、表現しようとしている。	○	○	○	18
	定期考査						○	○		合計 78